

南京セミナー感想

神代弘子（立命館大学産業社会学部）

村本ゼミで紹介された「心と体で歴史を学ぶ会」で何回か南京のことを学び、この一年「アジアの文化論」「中国の国家と社会」などの授業を受け、中国語のTVテキストを買い（中国語の勉強は少ししかできなかった）、仏教伝来などの本も読んで準備を進めてきた。初めての中国、方向音痴で泉のほとりを間違えてしまったり（仲間に途中出会ったのにもっと見てみようと思ったりと引き返したりで時間がなくなった）、トラベラーズチェックという慣れないものに振り回されたりと村本先生に心配をおかけしたが、なんとかみんなのあとをついていけたと思う。みなさん、ありがとう！

思いもかけず生まれ故郷の山東省（2歳のとき引き揚げたので覚えてないが）の人たちに会えてお話を聞いた。大学の中にホテルや本格的なレストランがあり、日本とは違った素晴らしい環境で驚く。スイカジュースを初めとして数々のおいしい中華料理もホテルの人たちの優しさと共に忘れられない。上海、南京の人の多さ、列車の中のきりりとした女性の車掌さんも。最初から最後まで先頭をきって先導してくれたシャオタン、言葉だけでなく中国の文化を伝えてくれたラ・スイスイさん、魔法使いのようにみんなをリードして下さったアルマンド、アルマンドの言葉をわかりやすく話して下さったみんなのお母さんのようなあやさん、すべてにわたって気を配って下さった村本先生、たいへんなカメラマンをやってくれた土井君、そして何より私たちを暖かく迎えて下さった中国のみなさん！本当にありがとう！

1日目の記念館の中身は野外彫刻から始まって圧倒的で、日本に対する怒りはありながら事実を指し示しながら抑制がきいていて、室内から泉のほとりへと静かに平和への願いへと繋がるものだった。泉のほとりでの少女の出現と彼女の描いた絵は、考えさせられ私たちのこれからの道を後押ししてくれるものだった。2日目の中国の人たちの小さい頃、村人から伝え聞いたことは、南京だけでなく、中国のあちこちで物的収奪、人的収奪だけでなく、レイプ、虐殺

があったことを示す。3日目の生存者のお話は思い出しても涙がでてきて、幼くて母を助けられなかった無念の思いと、侵略者に対する怒り、恨みが伝わってきた。特に（加害者と被害者の）「質の違い」の違いを厳しく教えてくれたこと、日本がしっかり歴史の事実に向き合うこと、個人補償をまだできていないことをわからしめた。

4日目の慰霊塔では手を差し伸べてくれた若い中国の女性と日本の高齢の私が手を携えて石段を一步一步登る時、ありがたい気持ちと、平和へと少しずつ共に歩んで生きたい、引き締まる思いだった。

日本が、イラクやアフガンなどに軍隊や武器でなく、人々の生活に根ざした願いに応える技術を、人を送り出す中で世界の信頼を勝ち得るのではないかと思う。

ありがとうございました！！

南京研讨会日报和感想

神代弘子（立命館大学産業社会学部）

通过在村本讨论发表会介绍了的「与心用身体学习历史的会」学习几次南京的事，这一年上「亚洲的文化论」「中国的国家和社会」课等，买中文的电视课本（不过几乎没有学中文），也读过佛教传来等的书准备去南京。第一次的中国，我是容易迷路的人搞错了泉旁边，虽然途中遇到了朋友但是还想看理由回去等事件没有了。我不习惯旅行支票怎么用给村本老师添麻烦了，不过我想想办法能跟大家过一起。谢谢大家！

没想到认识山东省的人说话。（我是在山东省出生的，因为两岁的时候回日本来了所以不记得）我很吃惊大学的校园里有宾馆，高级餐厅，和日本很不一样的环境。

好喝的西瓜汁，好吃的中国菜，宾馆的服务员的服务都忘不了了。也忘不了上海，南京有那么多人，火车里的女的乘务员。从开始到最后为了我们先导的 Xiaodang，不是只有语言也给我们介绍的 LuoCuicui 女士，好像是魔术师领导我们的 Armand 教授，他说的内容翻倒日文告诉我们，好像是我们的妈妈 Aya 小姐，